

令和3年

第2回(定例会)東かがわ市教育委員会議

会議録

令和3年2月25日(木)

出席構成員			
東かがわ市教育長	竹田 具治		
委員(教育長職務代理者)	向山 正裕		
委員	山本 勝博		
	樫原 文子		
	安富 安代		
欠席構成員			
説明のため会議に出席した者の職氏名			
教育部長	中川 敬彦	学校教育課 副主幹	与島 達也
学校教育課長	片山 竜治	学校教育課 副主幹	齋藤 薫
生涯学習課長	中川 晃代	学校教育課 主任主事	鎌田 紘行
子育て支援課長	川田 真一	学校教育課 主任主事	土井 直樹
学校教育課 副主幹	水口 由美子	生涯学習課 副主幹	小西 圭司
学校教育課 副主幹	児嶋 佳高	生涯学習課 副主幹	上枝 勉
学校教育課 副主幹	三谷 勇人	子育て支援課 副主幹	六車 憲二
学校教育課 副主幹	岸本 禎	子育て支援課 副主幹	六車 輝典
学校教育課 副主幹	安本 薫	子育て支援課 主査	寒川 和之
職務のため会議に出席した事務局職員の職氏名			
学校教育課 副主幹	水口 由美子		
会議録署名人			
教育長 竹田 具治、委員 山本 勝博			

事務局担当書記

学校教育課 副主幹 水口 由美子

【特記事項】 傍聴人:0人

議 事 日 程

日程第1	会議録署名委員の指名について		
日程第2	会期の決定について		
日程第3	令和3年第1回(定例会)東かがわ市教育委員会会議録の承認について		
日程第4	教育長報告		
日程第5	議案	第1号	東かがわ市立特定教育・保育施設自園給食徴収要綱の一部を改正する告示について
日程第6	議案	第2号	東かがわ市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
日程第7	議案	第3号	令和3年3月議会定例会提出「令和2年度教育関係補正予算」について
日程第8	議案	第4号	令和3年度当初予算について
日程第9	承認	第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和3年2月臨時議会提出「令和2年度教育関係補正予算」)
日程第10	報告	第1号	令和3年度一般財団法人東かがわ市スポーツ財団の事業計画に関する書類の報告について
日程第11	報告	第2号	GTEC Junior 2の結果について
日程第12	報告	第3号	実用英語技能検定の結果について
日程第13	報告	第4号	令和3年度部活動について
日程第14	報告	第5号	令和3年度東かがわ市奨学生の決定について
日程第15	報告	第6号	令和3年度入学する学校の変更申請者(校区外中学校への入学予定者)の報告について
日程第16	報告	第7号	区域外就学者の報告について

【議 事 内 容】

(午後 1時00分 開会)

■日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、本会議の会議規則第6条の規定に基づき、竹田教育長と委員の中から1名、山本委員を指名。

■日程第2 会期の決定について

教育長から、本会議の会期について1日でよいか意見を求める。

<質疑>

- 委員 1日です承。

■日程第3 令和3年第1回（定例会）東かがわ市教育委員会会議録の承認について

学校教育課、片山課長から会議録について説明。

<質疑>

- 特になし。

■日程第4 教育長報告

竹田教育長から、2月（1月26日から2月25日）に出席した行事等について報告。

また、今後の予定について報告し、質疑を求める。

<質疑>

- 特になし。

■日程第5 議案 第1号 東かがわ市立特定教育・保育施設自園給食徴収要綱の一部を改正する告示について

子育て支援課 寒川主査が説明

<質疑>

- 特になし。

■日程第6 議案 第2号 東かがわ市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

学校教育課 岸本副主幹が説明。

<質疑>

- 特になし。

■日程第7 議案 第3号 令和3年3月議会定例会提出「令和2年度教育関係補正予算」について

学校教育課・片山課長、生涯学習課・上枝副主幹、子育て支援課・川田課長が説明。

<質疑>

- 山本委員 23ページ子育て支援課の市立認定こども園の白鳥こども園が30,900千円ですか、実績見込みによる精査となっていますが、園の指導訪問に行った時に非常に園の経営が厳しいという話もありました。30,000千円見込みの中で、園の支援として支出しようと思っていたものがこれだけ減るということですか。
- 川田課長 予算ですので、園児数を各園ともに多めにしているため、実際の数と伴わないところがあります。白鳥こども園に関しては、延長保育をしていましたが、今回コロナの関係もありまして、補助対象にならないということでご理解いただいております。他の園も共通で、法定価格が一部減額になり、一部人件費が削減されております。それについては協議の上、私立3園に納得していただいております。

■日程第8 議案 第4号 令和3年度当初予算について

学校教育課・片山課長・水口副主幹・児嶋副主幹・三谷副主幹、生涯学習課・中川課長小西副主幹、子育て支援課・川田課長が説明

<質疑>

- 山本委員 海淀の関係が出ていましたが、これは海淀に限らず先行き見えないコロナの状況で国際交流の計画案は令和3年度はありませんという解釈ですね。
- 教育長 基本的にはそういう解釈です。
- 中川部長 市全体の国際交流の所管は地域創生課になりますが、教育委員会では海淀との交流は来年度は予定が無いということです。
- 山本委員 当然いろんな国を含めた中で検討と言うことで、分かりました。
- 樫原委員 子育て支援課の、園児数で、追加がありますが、追加の人数というのは途中入所のことですか。

- 川田課長 はい、その予定です。
- 樫原委員 本町幼稚園も追加になっていますが、途中から入る予定ですか。
- 川田課長 いえ、予測されていない不特定の子どもに対しての予算計上です。

- 日程第9 承認 第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年2月臨時議会提出「令和2年度教育関係補正予算」）について
学校教育課・片山課長、子育て支援課・川田課長から説明

<質疑>

- 特になし。

- 日程第10 報告 第1号 令和3年度一般財団法人東かがわ市スポーツ財団の事業計画に関する書類の報告について
生涯学習課・中川課長が説明

<質疑>

- 山本委員 15ページ、全体をとおしての全ての施設で令和3年度の目標値は全部落ちていますが、ただ、運動教室指導者派遣事業の中で、ここだけが増えています。小学校については令和2年度から委託事業として指導を実施している数値が加わったから令和元年度よりも増えた数値という理解でいいですか。
- 中川課長 はい、今年度途中から実施が出来ていなかった関係もありまして、来年度は出来るという見込みで計上しております。
- 山本委員 財団の収支予算の中で、令和元年度も151,000千円程度ですが、だいたいいつも151,000千円程度でコロナの影響はあまり受けてなかったということですか。行事などが中止になったりして予算的に減ったかと思えば、元年度から3年度までを見るとだいたい151,000千円から153,000千円の間です。
- 中川課長 施設の利用収入は若干減っていますが、指定管理料がございまして、全体的にはそう大きな差はないということです。

- 日程第11 報告 第2号 GTEC Junior2の結果について
日程第12 報告 第3号 実用英語技能検定について
学校教育課・鎌田主任主事が説明

<質疑>

- 向山委員 大変良い結果が出ていると思います。そんな中、あまり求めすぎて英語嫌いをつくらないように引き続き焦らずに続けてほしいと思います。また、来年度に向けて対象が増えるので子ども達にとっていいチャレンジの場になるようにしていただきたいと思います。
- 山本委員 実用英語の大川中学校は20パーセント程度で他校に比べて半分ですがこれはなにか理由がありますか。個人の希望だとは思いますが。
- 片山課長 希望調査をして希望で申し込みいただきますが、はっきりした原因は分からないと言うのが正直なところです。
- 教育長 来年度に向けて課題等もありますのでそこも考えながら継続して続けたいと思います。

■日程第13 報告 第4号 令和3年度部活動について
学校教育課 岸本副主幹が説明

<質疑>

- 向山委員 国の指定を受けると言うことですが、子ども達の表現の場、総体や代替大会の体制をどうにかしなければ、活動の場は確保できても表現の場を保障しなければならないと思います。地域のスポーツ少年団でもできる場所を確保しなければいけないと思います。東かがわ市だけではないと思いますが。中体連ももっと柔軟に対応できないのかと思います。
- 岸本副主幹 中体連が変わらなければ市の取り組みも生かされないのではないかと、中体連の方にもお願いしましたが、なかなか厳しいようで、ダンス部などは大会もありませんので、そういう状況でどのようにしていくのか、校長先生方とも今後、協議していきたいと思えます。
- 向山委員 2年生で「これをつくる意味が無い」という意見がありますが、意見をあげても変わらないということでコロナ禍で大変だったとは思いますが、糸口を探していただけたらと思います。
- 安富委員 「これをする意味は無い」とはよく言ったなと思えます。これを書いた子は実際にそう思ったから書いているんだと思えますが、書いていなくてもそう思っている子はいるとよく聞きますので、なぜ部活をたくさん作れないのか、この部活はないのかということをお納得させる説明をして、しっかり子どもをお納得させて、ではどうするのかを考えるうえで、説明はとても大事だと思います。特に文化部は

要望をたくさん出してくれていますので、運動部に対してこれだけしか文化部希望の生徒がいないということはないと思うので、ぜひ子どもの納得のいくような話をさせていただけたらと思います。

- 山本委員 参考までに、各中学校の部活の加入率はどのくらいでしょうか。引田であれば 119 人。
- 岸本副主幹 加入率はほとんど 80 パーセントから 90 パーセントまでできています。特に引田は加入率が高いです。
- 安富委員 引田は原則全員入部と言われているので、特に部活に入らなければいけないという空気が強いのではないかと考えています。教育的な意味もあるので部活は大事だとは思いますが、本当は帰宅して勉強したい子もいるのではないかと考えています。
- 樫原委員 「野球のヘルメットがこわれている」という意見が出ていますが、これは対応できるのですか。
- 岸本副主幹 はい、部費で対応できます。
- 樫原委員 こんな意見が上がっているところについては、きちんと対応してあげたいと思います。6年生では「部活が出来るだけでもうれしい限りです」という意見が上がっているのを見るとこんなふうになっているのかと心がほっとしました。
- 山本委員 この根本は生徒・児童数の減少の影響でしょうか
- 教育長 それもあって、基本的には自分のやりたいことをやれる状況を整えていかなければいけないのですが、学校の中ではもう限界がきています。地域などの力を借りて。
- 向山委員 チャレンジ出来る環境を整備しないといけないですね。その中で表現の場、大会などを出来る環境に切り替えていかなければならない。
- 山本委員 生徒数、児童数が減少していく傾向なので、そこでどんな部活動が存続していけるのかということです。
- 教育長 出来るだけ地域、社会体育や社会教育へシフトしていくようになるかと思いますが。学校でも背負いきれない状況になっているので、研究しながらいきたいと思っています。

■日程第14・15・16については非公開とする。

午後2時30分 閉会
